

予 算 常 任 委 員 会 記 録

1. 委員会を開催した年月日・時刻及び場所

令和7年9月18日（木） 議 場

午後1時30分 開議 午後2時27分 閉議

2. 出席した委員の名簿

委員長	寺 井 哲 也 (○)	
副委員長	松 永 幸 則 (○)	
委 員	丸 田 一 幹 (○)	
〃	松 田 義 人 (○)	
〃	備 後 克 則 (○)	
〃	岡 本 佐 市 (○)	
〃	川 口 雅 登 (○)	副議長
〃	酒 井 一 人 (○)	
〃	浜 名 等 (○)	
〃	櫻 井 英 一 (○)	
〃	新 田 義 昭 (○)	
〃	山 本 泰 夫 (○)	議 長
〃	浅 野 俊 二 (○)	

3. 傍聴した者 一般傍聴者1名

4. 出席した説明員

川口副市長、八島教育長、山本総務部長、前田産業建設部長、政氏市民福祉部参事、中島教育次長、北山秘書課長、山岸企画財政課長、崎田まちづくり課長、安達災害復興推進室長、木曾市民窓口課長、森田デジタル推進室長、保志場税務課長、木田会計管理者、蓮本こども課長、野崎危機管理監、寺井商工観光課長、山本農林水産課長、関軒企画振興室長、田中上下水道課長、西村生涯学習課長、牧山文化財課長、西野生活安全課参事、岩本上下水道課参事、広島スポーツ推進室長、小林選挙管理委員会書記長、松田地域包括ケア推進室長補佐

5. 出席した事務局職員

事務局長 木村 繁成 事務局次長 野崎 直美 係長 澤田 朋子

6. 会議に付した議件

別紙付託表のとおり

7. 会議の概要

寺井委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。次に、岸市長からあいさつがなされ、その後、退室する。

次に、付託表に基づき執行部から説明を聴取し、その後、質疑・答弁が行われる。

終了後、採決に入り、議案3件及び報告1件は全会一致で可決する。詳細は、別紙「委員会審査結果」のとおり。

次に、委員会報告については、委員長に一任することを決定する。

最後に、寺井委員長が閉会のあいさつをし、会議を閉じる。

8. 主な質疑・応答等

【付託案件等に対する主な質疑・応答】

酒井委員：中学校施設整備事業の1億2370万円の増額補正は、空調設置工事とのことだが、維持管理については、どう考えるのか。羽咋中だけでなく、羽咋体育館も空調の設置を計画しているが、空調設置後、維持管理の経費を受益者負担にする考えなのか。

中島教育次長：羽咋中学校体育館は、維持管理費が年間400万円程度増加すると見込んでおり、羽咋体育館にも、空調設備を設置予定で、いずれの施設においても一定の受益者負担が必要ではないかと考えている

松永副委員長：創業等応援補助金の増額は非常に喜ばしいことだが、どの業種分野なのか。

寺井商工観光課長：今回3件増加になっており、学習塾1件と飲食店2件である。

丸田委員：防災対策事業の補助金で、井戸を掘ったが水が出ない場合、調査費として認められるのか。

野崎危機管理監：調査費も含んでいるが、水が出ない場合は想定していないので、事前の相談をお願いしたい。

丸田委員：スポーツ団体運営支援事業の増額で、全国大会等に出場する個人または団体の支援とのことだが、今回の場合は全国大会出場者が多いのか、競技や学年で支援を増やしたのか。

広島スポーツ推進室長：制度の変更点としては、激励費を新たに新設した。

あとは、交通費及び宿泊費は、これまで実費の2分の1であったが、今年度から、行先を地区ごとに定額制にしたという変更点が一つある。また、野球の団体が、中部大会や全国大会に出場し、出場者の数が増えたのが、大きな要因の一つになります。

備後委員：土木費の社会資本整備総合交付金事業と道路メンテナンス事業について。約1億円の大きい減額だが、改良事業にどのような影響を与えるのか。

前田産業建設部長：道路メンテナンス事業は橋の整備やトンネルに特化した事業で、麻の尻橋の完成により、この財源が不要となった。

また、社会資本整備総合交付金7,990万円の減額については、国の交付額の確定に伴う減額であり、本事業で実施を予定している道路改良事業やLED化事業については、優先度を考慮し、実施時期を調整していきたい。

松永副委員長：障害者自立支援給付事業について。障害のある方の一般就労等への希望を聞き、支援する事業と考えるが、そのシステムはデータ入力だけでなく、他の情報も提供できるのか。

政氏市民福祉部参事：就労選択支援事業は、ある就労への支援の選択をする際に、その方に適したサービスで、本人の希望をする働き方ができるよう支援するというサービス内容である。

今回の補正の分については、データベースがあるシステムの更新の費用になっており、情報を発信する機能は網羅していない。

浅野委員：コスモアイル羽咋管理運営事業とで、今の改修は、古くなって替えるのか、あるいは、替えてからどれくらい経ってるのかと、もう一つは当初予算のときとはどうか。

この事業について教えてほしい。

西村生涯学習課長：コスモアイル羽咋の電気設備の工事について、耐用年数は過ぎており、経年劣化である。コスモアイル羽咋開館から来年で30年経つが、初めての交換になる。

非常時における電源装置の改修工事であり、停電時における非常電源の作動装置や、事故が起きた場合の直流電源を外部に出さないためにストップするもので、増額補正で委託費に計上したもの。

浅野委員：今年で30年経つとのことだが、当時、これは予測できなかったのか。

西村生涯学習課長：通常15年から20年の耐用年数だが、これまで消防の点検等で基準等を上回っており、交換工事はまだ必要なく、今回初めて基盤改修工事が必要になり補正の計上をした。

浅野委員：わかりました。当初予算にあった全体工事を教えてほしい。

西村生涯学習課長：コスモアイル羽咋の今年度の当初予算は、非常用蓄電池の取り替え工事等々、約1,400万円の工事費を当初予算で計上している。

松田委員：小学校施設整備事業の中で、校内の安全を確保する話があったが、小学校側から市役所に上る方で、朝晩、右折車と左折、直進車が重なり通れない交通渋滞がよくある。

今後スクールバスも加わると、ますます助長するのではと危惧されるので、対策が必要だと思うが、今後の予定は。

前田産業建設部長：今でも小学校側から消防の交差点に入るところが、朝は混雑する。

スクールバスによって助長されると懸念されるので、今後状況を見ながら、左折レーンの増設などが必要であれば考えていきたい。

令和 7 年第 5 回定例会議案付託表

予算常任委員会

番号	議案番号	議 件
1	議案第 4 3 号	令和 7 年度羽咋市一般会計補正予算（第 6 号）
2	議案第 4 4 号	令和 7 年度羽咋市水道事業会計補正予算（第 1 号）
3	議案第 4 5 号	令和 7 年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第 1 号）
4	報告第 2 6 号	令和 7 年度羽咋市一般会計補正予算（第 5 号）の専決処分の報告について